

患者さんへ

大腿骨転子間横骨折における術後の挙動に関する研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2013年4月～2022年12月に当院外傷センターにて、大腿骨転子間横骨折のために骨接合の手術を受けた患者さん
2 研究目的・方法	<p>大腿骨転子間骨折(足の付け根部分の骨折)では、髓内釘(ずいないてい)という釘を使って、骨折部位を固定する手術を行うことがあります。手術に伴い合併症が起こることがあり、どのような場合に合併症が起こるリスクが高いのかを明らかにすることが求められています。</p> <p>そこで本研究では、大腿骨転子間骨折の中でも横骨折(おうこっせつ)に焦点を当て、合併症のリスク要因を検討します。</p> <p>研究の期間:施設院長許可後～2023年12月</p>
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	<ul style="list-style-type: none">・研究対象者背景(年齢、性別等)・病態(骨折形態等)・手術と治療内容(髓内釘の長さ、術後整復位等)・各種検査画像(レントゲンやCT画像等)
5 研究実施体制	<p>[情報の提供を受ける機関]</p> <p>札幌東徳洲会病院、外傷センター・医長、伊澤 雄太 (研究代表者)</p> <p>[情報を提供する機関]</p> <p>湘南鎌倉総合病院、外傷センター・部長、二村 謙太郎</p> <p>[外部への情報の提供]</p> <p>施設間のデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データは個人を特定できない形式に記号化した登録番号を付けた上で、データを取り扱います。当院のコード番号一覧表(登録番号と患者さんを結びつけたもの)は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。</p>

6 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 札幌東徳洲会病院 外傷センター・医長 伊澤 雄太 住所：札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号：011-722-1110（代表）</p> <p>研究責任者： 札幌東徳洲会病院 外傷センター・医長 伊澤 雄太</p>
-----------	---

2023年2月6日作成(第1版)